

2 単元における指導と評価の計画 英語 I

・「We All Share This Earth」(全6時間) (第1学年10月)

1. 本単元の主な学習目標

- (1) 要約文を積極的に相手に伝えようとして話してる。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 場面や目的に応じて 適切な速さや声の大きさを話することができる。(表現の能力)
- (3) 内容を整理し、必要な分量を書くことができる。(表現の能力)
- (4) 書かれた内容について正しく読み取ることができる。(理解の能力)
- (5) 関係代名詞の非制限的用法、受身と進行形を伴う現在完了形、関係副詞を含む英文の構造と意味を理解することができる。
(言語や文化についての知識・理解)

2. 本単元の評価規準

【読むこと・書くこと・話すこと】

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
内容のまとめりごとの評価規準	・「話すこと」の言語活動に積極的に取り組んでいる。 (話すこと)	・日常的な話題について、場面や目的に応じて、英語で適切に話することができる。 (話すこと)	・日常的な話題についての英語を読んで、情報や考えなど書き手の伝えようとすることを正確に理解することができる。 (読むこと)	・日常的な話題について、「読むこと」の学習で取り扱われた言語や言語の運用についての基本的な知識を身に付けている。
本単元における評価規準	(言語活動への取組) ・自分で書いてまとめた要約を積極的に相手に伝えようとして話している。 (話すこと)	(適切な発話) ・場面や目的に応じて適切な速さや声の大きさを話することができる。 (話すこと)	(正確な読みとり) ・書かれた内容について正しく読みとることができる。 (読むこと)	(言語についての知識) ・関係代名詞の非制限的用法、受身と進行形を伴う現在完了形、関係副詞を含む英文の構造と意味を理解することができる。

学習活動における具体の評価規準	(言語活動への取組) ①ジャイアントパンダの生態や保護活動に関する要約文を、キーワードや図表を示しながら、積極的に発表している。 (話すこと)	(適切な発話) ①自分で書いてまとめた要約文を、声の大きさ、アイコンタクト等に留意しながら、相手にわかりやすく発表することができる。 (話すこと)	(正確な読みとり) ①ジャイアントパンダの生態や保護活動に関して、正確な情報を読み取ることができる。 (読むこと)	(言語についての知識) ①関係代名詞(非制限的用法)、現在完了形(受身・進行形)、関係副詞の働き、形態や意味が分かる。
-----------------	---	---	---	--

3. 指導と評価の計画 (全6時間)

時間	学習目標	学習活動	本単元の評価規準との関連				評価方法
			関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識理解	
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ジャイアントパンダについて、基本的な事項を理解する。 ○単元の課題を理解する。 ○本時の課題を理解する。 ○関係代名詞、関係副詞を含んだ英文の意味・形態・機能について理解することができる。 ○英語の音声的特徴に慣れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教師が示すジャイアントパンダに関する話を聞き取り、適切な応答をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・既習の語彙から推測する。 ・既習の文法・構文の知識を用いて理解する。 ・レッドデータブックについて知る。 ○オーラルイントロダクションに加わる。 ○教科書の本文の内容を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙の意味・用法 ・関係代名詞(非制限的用法)を含む文の理解 ・関係副詞を含む文の理解 ・ジャイアントパンダの身体的特徴 ・ジャイアントパンダの行動面の特徴 					

	<p>○本文の骨子をまとめることができる。</p>	<p>○英語の音声の特徴を大切にしながら音読する。 ・復習としてのディクテーション</p> <p>○要約文を完成する。</p>			①	・ワークシートの提出
2	<p>○聞き手を意識して1分程度の口頭での発表ができる。</p> <p>○本時の課題を理解する。</p> <p>○独立関係代名詞を含んだ英文の意味・形態・機能について理解することができる。</p> <p>○英語の音声的特徴に慣れる。</p> <p>○本文の骨子をまとめることができる</p>	<p>○前時の本文の内容について、要約の発表を行う。</p> <p>○オーラルイントロダクションに加わる。</p> <p>○教科書の本文の内容を理解する。 ・新出語彙の意味・用法 ・独立関係代名詞を含む文の理解 ・ジャイアントパンダの身体的特徴と食習慣 ・ジャイアントパンダの生息環境 ・本文の内容理解クイズ</p> <p>○英語の音声の特徴を大切にしながら音読する。 ・復習としてのディクテーション</p> <p>○要約文を完成する。</p>	①	①		・活動の観察
3	<p>○聞き手を意識して1分程度の口頭での発表ができる。</p> <p>○本時の課題を理解する。</p> <p>○現在完了形(受身)と指示語としてのthisを含んだ英文の意味・形態・機能について理解することができる。</p> <p>○英語の音声的特徴に慣れる。</p> <p>○本文の骨子をまと</p>	<p>○前時の本文の内容について、要約の発表を行う。</p> <p>○オーラルイントロダクションに加わる。</p> <p>○教科書の本文の内容を理解する。 ・新出語彙の意味・用法 ・現在完了形(受身)を含む文の理解 ・指示語の内容理解 ・ジャイアントパンダの生息数が減少している原因に対する2つの異なる見解を知る ・本文の内容理解クイズ</p> <p>○英語の音声の特徴を大切にしながら音読する。 ・復習としてのディクテーション</p> <p>○要約文を完成する。</p>	①	①		・活動の観察
	○本文の骨子をまと	○要約文を完成する。			①	・ワークシート

	めることができる				の提出	
4	<p>○聞き手を意識して1分程度の口頭での発表ができる。</p> <p>○本時の課題を理解する。</p> <p>○現在完了形(受身)と指示語としてのthisを含んだ英文の意味・形態・機能について理解することができる。</p> <p>○英語の音声的特徴に慣れる。</p> <p>○本文の骨子をまとめることができる。</p>	<p>○前時の本文の内容について、要約の発表を行う。</p> <p>○オーラルイントロダクションに加わる。</p> <p>○教科書の本文の内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新出語彙の意味・用法 ・現在完了形(進行形)を含む文の理解 ・強調構文(It ~ that ...)の理解 ・ジャイアントパンダの保護活動について知る ・他の絶滅危惧種について知り、環境の大切さを考える ・本文の内容理解クイズ <p>○英語の音声の特徴を大切にしながら音読する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復習としてのディクテーション <p>○要約文を完成する。</p>	①	①		<p>・活動の観察</p> <p>・ワークシートの提出</p>
5	<p>○本文の骨子をまとめることができる</p> <p>○聞き手を意識して1分程度の口頭での発表ができる。</p> <p>○単元全体を通しての内容確認</p> <p>○語彙・文法事項の整理</p>	<p>○前時の本文の内容について、要約の発表を行う</p> <p>○単元の内容に関わる演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元全体についての英問英問を行う。 <p>○語彙・文法事項の演習</p>	①	①		<p>・活動の観察</p> <p>・活動の観察</p>
6	<p>○内容理解の確認と本単元で学習した語彙・表現の定着を図る。</p>	<p>○単元テスト</p>			① ①	<p>・Written Test</p>

※評価方法における「活動の観察」は単元を越えて、年間を通じて行うものとする。

3 単位時間の授業展開例 英語 I

1. 本時のねらい：
- ・ジャイアントパンダの行動的特徴について英語で紹介する。
 - ・ジャイアントパンダの体の仕組みと食習慣を理解する。
 - ・関係詞 what を含む英文、接続詞 though を含む英文の意味・形態・機能について理解する。

2. 本時の位置： 2 / 6 時

3. 展 開 案：

過程	学 習 活 動	評価について	指導・援助
前時の復習と導入	<p>○ジャイアントパンダの生態に関する前時の内容(summary)を発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Giant pandas live in mountains with thick bamboo forests. They have many special features. They have thick, waterproof fur, long, sharp claws and a special thumb to hold bamboo. They are solitary animals and try to avoid contact with other pandas. They communicate not only by making sounds but also by leaving scent marks. Pandas can tell many things about others by their scent marks.</p> </div> <p>○本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; border-style: double;"> <p>Let's learn giant pandas' eating habit.</p> </div>	<p>○話し手・・・アー①、イー①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察を通して具体的な姿を見届ける。 ・指導の一環として以下のような相互評価表を配布し、聞き手の生徒に記入させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>声の大きさ A-B-C アイコンタクト A-B-C 区切りと文強勢 A-B-C その他の工夫 A-B-C</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表しやすい雰囲気をつくる。 ・質問しやすい雰囲気をつくる。 <p>資料②使用</p>
展 開	<p>○新出語句の意味・発音の確認</p> <p>○簡単な英語でのやりとり(T⇔S)を通しての本文の内容の導入～確認～内容理解。 ※本時の課題の質問を含める。</p> <p>○日本語による言語的側面の説明。</p>		<p>資料③使用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語らしいリズムで発音する。 ・極力言い換え、例示等を行って安易に日本語に頼らない授業の雰囲気をつくる。 ・言語的側面の解説には正しい日本語を使

<p>1. <u>What makes pandas unique is their eating habits.</u> (l.7, p.68) <small>s v c</small> <i>what S V</i> 「SがVするもの」</p> <p>2. <u>Though 99% of their diet is bamboo, their digestive systems are designed for eating meat.</u> (ll.2-3, p.68) <i>Though S V...</i> 「SはV...するのだけれど」</p> <p>3. Pandas cannot go / for more than five or six hours / without eating. (II.1-2, p.69) <i>go without ~</i> 「～なしで済ます」</p>	<p>い、生徒の日本語における表現力を伸長させる。</p>	
<p>○音読</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Model Reading ・ Simultaneous Reading ・ Individual Reading <p>○ディクテーション</p>	<p>本時の学習内容（語彙・語法）を自己採点で確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ リズム、文強勢に注意する。 ・ 評価規準に含まれない口頭による評価を随時行う。
<p>○本時の要約</p>	<p>Most of the panda's diet is 1 _____, but their digestive systems are designed for 2 _____. They ate meat a long time ago. Pandas can absorb only 3 _____ of the bamboo nutrients, so they must eat for most of the day. They don't 4 _____ in winter, so they keep 5 _____ all year around. If they stop eating, they 6 _____.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の口頭での発表を意識させる。
<p>○次時の連絡</p>		<p>資料④配布</p>

4. 参考資料

(1) 評価補助簿例・・・資料①

(2) 学習プリント例： 前時使用・・・資料②

本時使用・・・資料③

本時の学習課題

語彙・重要表現

内容理解の確認・本文の要約

その他、背景知識

次時使用・・・資料④

資料①

高等学校英語 I Lesson 6 We All Share This Earth 評価補助簿 (例)

生徒氏名 具体の評価規準 (略表記)		1		2		3							
		A	B	A	B	A	B						
ア	①言語活動への取組	A	B	C	A	A	B	C	A	B	C		
	②コミュニケーションの継続	A	B	C	C	A	B	C	C	A	B	C	
イ	①正確な音読	A	B	C	A	A	B	C	A	A	B	C	
	②適切な発話	A	B	C	C	A	B	C	C	A	B	C	
ウ	①正確な読み取り	A	B	C	A	A	B	C	A	A	B	C	
	②適切な読み取り	A	B	C	C	A	B	C	C	A	B	C	
エ	①言語についての知識	A	B	C	A	A	B	C	A	A	B	C	
	②文化についての理解(1)	A	B	C	B	A	B	C	B	A	B	C	
	③文化についての理解(2)	A	B	C	C	A	B	C	C	A	B	C	
総 合		A		B		C		A		B		C	

※ ア・イは観察による記録、ウ・エは学習プリントの記入状況の点検に基づく評価とする。